

HV-500F 用分粒装置 PM4 金属捕集板セット 5 枚入

OPERATION MANUAL

取扱説明書

HV-500F 用分粒装置 PM4 は慣性衝突方式で、PM4（粒子径 $4\mu\text{m}$ を 50%カット）以上と未満に分離してサンプリングできる分粒装置です。粗大粒子の捕集用に金属捕集板をセットしています。ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、正しくお使いください。お読みにになった後は、いつでも取り出せる場所に保管してください。

使用前に

- △ 本書に記載された以外の用途には使用しないでください。
- △ 本製品は精密加工品です。くれぐれも取り扱いにご注意ください。特に、吸気口を傷つけたりしますと、著しく性能を維持できなくなります。

■ 中に入っているもの

ご使用前にご確認ください。

内容物に破損もしくは欠品があった場合は、お買い上げ販売店までご連絡ください。

● HV-500F 用分粒装置 PM4 【品目コード 080130-0874】

- 分粒装置本体 ※ …………… 1 組
- PTFE パッキン（白色）※ …………… 1 枚
- 金属捕集板セット 5 枚入 …………… 1 セット

※分粒装置本体と PTFE パッキンは、収納箱内に入っています。

● 金属捕集板セット 5 枚入 【品目コード 080130-033】

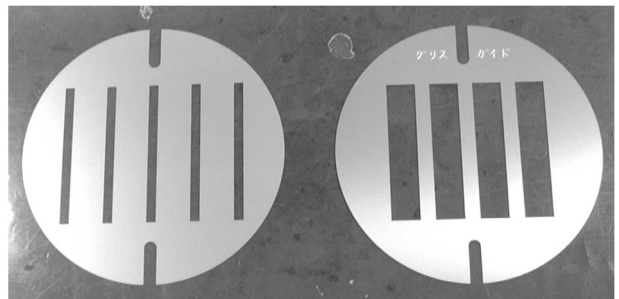
- 金属捕集板 スリット付（ケース入） …… 5 枚
- グリスガイド（ケース入） …………… 1 枚
- シリコングリス 100g …………… 1 個
- 収納箱 …………… 1 個

使用上の注意

- グリスを塗布する時は、グリスガイドの枠からはみださないようにしてください。
- 金属捕集板、グリスガイドは折り曲げないように取り扱ってください。
- サンプルングする時は、捕集容量限度を越えないようにしてください。再飛散による測定誤差の原因となります。

■ シリコングリスの塗布方法

金属捕集板（衝突板）にシリコングリスを塗布する場合は、グリスガイドの枠からはみださないよう、また平均的に塗布してください。

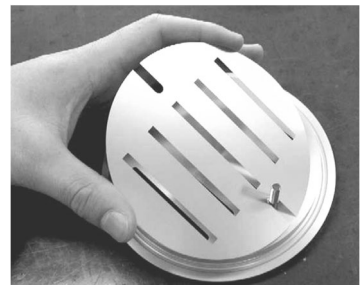


金属捕集板

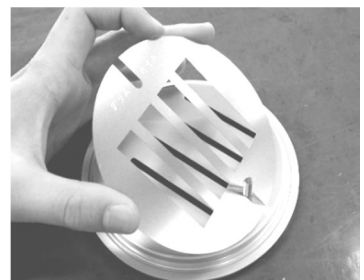
グリスガイド

< 塗布順序 >

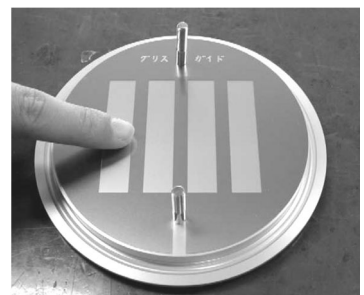
(1) 分粒装置ベースに金属捕集板をのせます。



(2) その上にグリスガイドをのせます。



(3) グリスガイドを指で押しながらグリスガイドの溝内へ指などでグリスを平均的に塗布します。

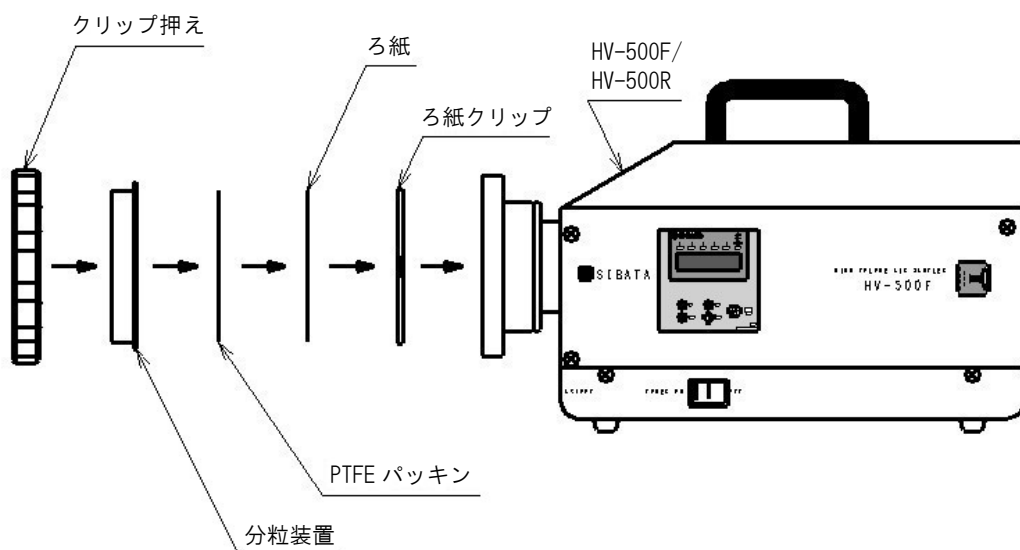


(4) グリスガイドを静かに取ります。その後、分粒装置カバーを重ねてねじで固定します。



■分粒装置の取り付け方

本分粒装置は、ハイボリウムエアースンプラー HV-500F/HV-500R に取り付けることが可能です。



HV-500F/HV-500R 付属のろ紙クリップに、ろ紙、分粒装置付属のPTFEパッキン、分粒装置の順番で取り付けます。その上からクリップ押えを回転させ固定します。

注意：HV-500F 付属のクリップリング、HV-500R 付属のろ紙クリップ止めは使用しません。

■シリコングリスについて

シリコングリスを塗布した金属捕集板には、高速の気流が衝突します。

グリスはこれに耐えられる粘度の高いものでなければなりません。

下記のグリスをおすすめします。

- 信越シリコーン HIVAC-G

■ 金属捕集板の再利用

金属捕集板はステンレス製ですので、再利用できます。

使用した金属捕集板は、やわらかい紙や布などで粉じんを含んだグリスを拭き取ってください。その後、脱脂洗浄してください。

■ 金属捕集板の捕集容量限度

シリコングリスを塗布した金属捕集板でも、捕集容量に限度があります。捕集容量を超えると4 μ m以上の粉じんが再飛散し、正確な測定ができなくなります。その限界容量は粉じんの性質にもよりますが、10 mg 前後であると推定されます。

測定は必ず、10 mg 以下の捕集になるようにしてください。また4 μ m以上の粉じんの存在比が高い場合は、サンプリング途中で金属捕集板を交換するなどの方法を採用してください。

■ 仕様

品目コード	080130-0874
品名	HV-500F 用分粒装置 PM4
型式	HV-500PM4
カット特性	4 μ m 50%カット
吸引流量	500 L/min
寸法	ϕ 130 \times 22 mm (突起物を除く)
質量	約 300 g

21. 04. 26K (05)

 **柴田科学株式会社**

カスタマーサポートセンター (製品の技術的サポート専用)

 0120-228-766  FAX 048-933-1590

フリーダイヤル

<http://www.sibata.co.jp>

注) 改良のため形状、寸法、仕様などを機能、用途に差し支えない範囲で変更する場合があります。